

# 雲仙治山だより

発行・連絡先 / 長崎県島原振興局農林水産部林務課

〒855-8501 長崎県島原市内1-1205 電話 0957-63-5073

令和2年(2020)年

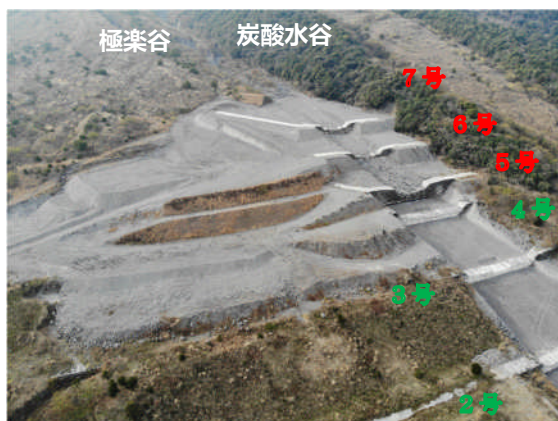
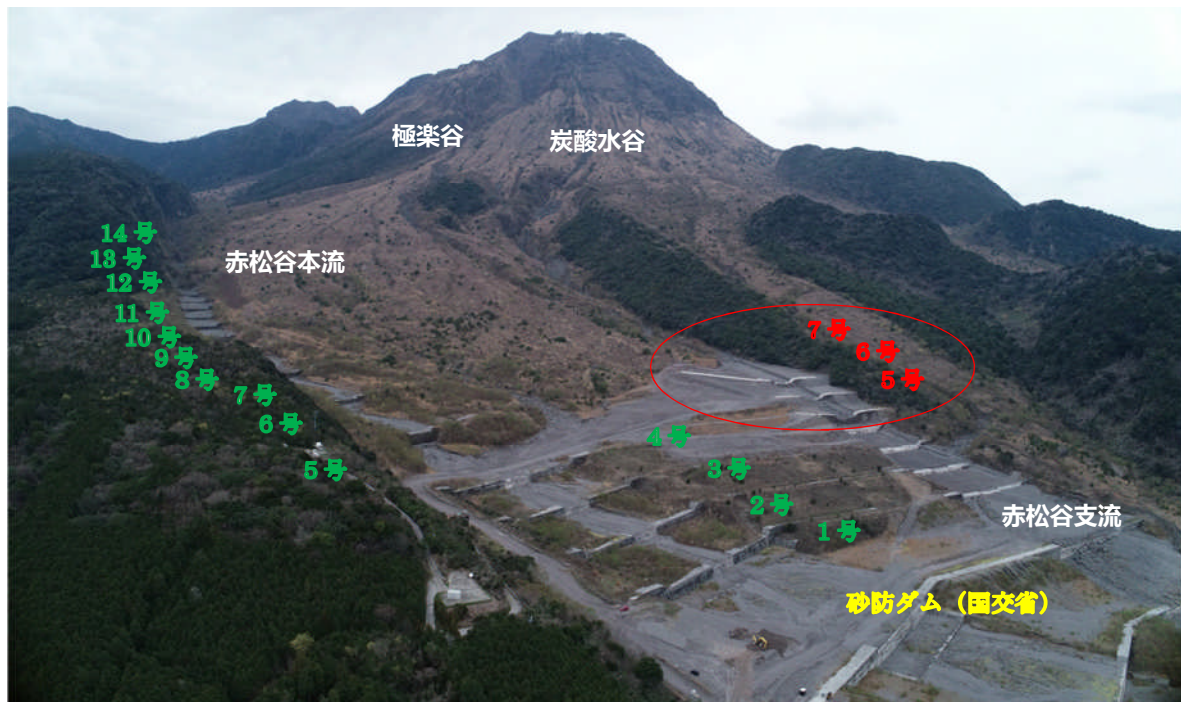
4月発行

(vol.1)

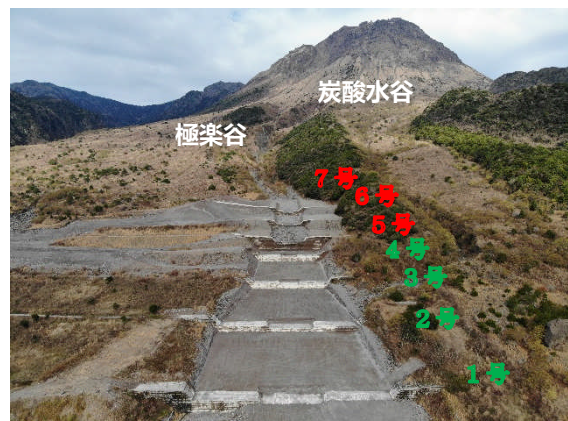
## 令和元年度 雲仙地区地域防災対策総合治山工事完成

雲仙岳における水無川流域の治山対策は、平成3年に設置された「雲仙岳・眉山地域治山対策検討委員会」の提言による「治山計画基本構想」に基づき、赤松谷本流等で治山ダム(谷止工)が14基(緑番号)施工されました。その後、赤松谷支流の極楽谷・炭酸水谷において大規模な土石流が発生したことから、平成26年度の雲仙地区治山対策検討委員会において治山ダム(谷止工)が計画され、この度3基(赤番号5号~7号)が、平成27年9月から4年余りをかけて令和2年3月に完成しました。

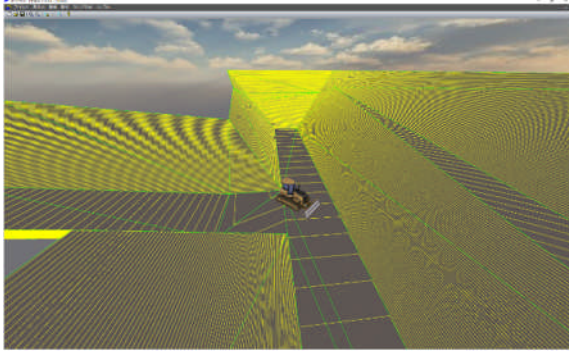
工事は、警戒区域であることから無人化施工で行われ、労働生産性の向上を目指した「建設ICT(施工・維持管理における生産性・品質の向上に寄与する情報通信技術)」を活用し完成しました。



治山ダム(谷止工) 5号~7号



赤松谷支流 排土工完成



3次元の治山ダム床堀 ICT モデル



遠隔操作（GPS）による出来形管理

## 令和2年度 雲仙地区地域防災対策総合治山工事予定

令和2年度は下記事業を実施します。

### ① 航空実播工

3基の治山ダム（谷止工）が完成しましたので、当工事によって盛土・作業道等で植生が、失われたエリア（裸地化）の早期緑化を図るため、ヘリコプターによる航空実播工を実施します。

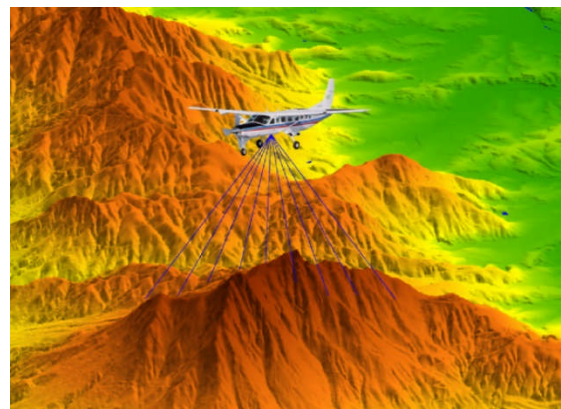
### ② 水無川流域（赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷）における観測・調査

「雲仙地区治山対策に関する提言書」により、極楽谷・炭酸水谷では、3基の治山ダム（谷止工）の完成によって、谷の侵食を抑制し土砂や水の流れを整える機能は一段と向上したとの評価を得ました。しかし、谷は引き続き不安定な状況にあり、侵食による地形変化や土砂流出状況等について観測及び調査を実施し、その結果を見極め、必要に応じて追加対策を検討していくことになりました。

このため、谷の観測・調査を定期的を実施するとともに、航空レーザ測量（航空機からレーザ光を照射）等により、定量的に状況変化を把握することとしています。



航空実播工



航空レーザ測量（イメージ図）

### お知らせ

平成2年11月17日、198年ぶりに噴火した雲仙・普賢岳は、火砕流や降灰の発生等により人命・財産に対する直接的被害を引き起こし、また、地域社会や経済にも深刻な打撃を与えることとなりました。

そうした中、長崎県島原振興局では学識経験者等の提言を踏まえた治山事業に取り組み、今年で30年という節目の年を迎えることになりました。この間、少しずつではありますが、治山ダム（谷止工）・航空実播工等により樹林化が図られたことで防災機能が高まりつつあることを感じています。

しかしながら、水無川流域の源流部は、引き続き不安定な状況にあることから、本誌「雲仙治山だより」の定期的な発行を通じて、これからの観測・調査の結果や治山対策について情報を発信し、地域の皆様の安心・安全に寄与してまいります。